

ほくとライブラリー



新屋図書館だより



発行 秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 TEL 018-828-4215

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/al/default.htm>

(携帯用) <https://www.lib.city.akita.akita.jp/opac/wopac/pc/mSrv?dsp=TP>

H30. 6月号

No. 200

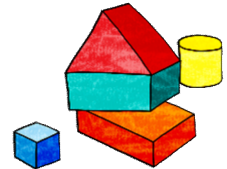
「ててて・あそびの学校」関連ブックフェア

6月2日(土)～7月1日(日) 新屋図書館の本館および渡り廊下で

『ててて・あそびの学校』の関連ブックフェアを開催します。

木と遊びに関する本を展示、貸し出しいたします。

毎回好評の企画です。ぜひ足をお運びください!



おはなしのしずく20年間の歩み展

6月19日(火)～7月3日(火) 新屋図書館ではおはなし会を開催しているボランティア「おはなしのしずく」が、これまでのおはなし会で使用し、楽しんできた小道具を展示します。

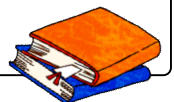
また、6月26日(火)に、おはなしのしずくによるお手玉製作の講習会『大きなお手玉を作ってわらべ唄で遊びましょう』を行います。一般の方が対象になります。詳細はお問い合わせください。



かぞくぶっくぱっくリニューアル!!

6月から順次ぶっくぱっくの入替えをおこないます。

中身は借りてからのお楽しみ♪



6月のおはなし会



6月2日(土) 14:00～14:40

あめ・雨・ふれふれ

～科学絵本・折り紙～

(おはなしのへや・幼児～小学生)



6月12日(火) 10:30～11:00

ぽつぽつあめふり

～紙芝居・ふれあい遊び～

(おはなしのへや・赤ちゃん～)

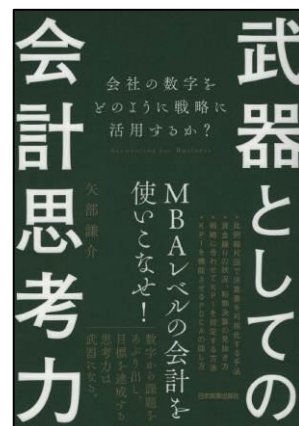
新刊案内

武器としての会計思考力 MBAレベルの会計を使いこなせ！

矢部 謙介／著

日本実業出版社 請求記号 336 (会計・経営)

広告による企業イメージなど漠然としたものだけではなく、決算書といった数字（会計）が、その会社の実態をあらわします。外部の人間が会社を知る、内部の人間が戦略を「見える化」する、会計思考力を身に着けるための基本書であり、会計、経理、経営の実務の即戦力の書です。



ラメルヘン・テープで作る 大人スタイルのバッグ

メルヘンアートクリエイティブチーム／著

河出書房新社 請求記号 594 (手芸)

ラメルヘンテープとは、光沢のある塩化ビニル製のひも素材のこと。光の輝き方も様々で、このテープを使って製作すると、定番の形のバッグが、たちまち上品なモードの佇まいに。テープの基本の通し方、編み方と、実際に21の作品事例が掲載されています。



重版未定 弱小出版社で本の編集をしていますの巻

川崎 昌平／著

河出書房新社 請求記号 021 (編集者)

ドラマにもなった漫画『重版出来！』は大手企業で働く漫画雑誌の編集者が主人公でしたが、こちらの主人公は副題のとおり“弱小出版社”の編集者。けっして華やかとはいえない環境の中、ひとつひとつの仕事を淡々と積み上げていく姿には、共感を覚える方も多いはず。



鳥獣戯画を読みとく

五味 文彦／監修

岩崎書店 請求記号 72 (美術)

「鳥獣戯画」を知っていますか？身近な動物や人間の姿をユーモラスに描いた、国宝の絵巻物です。文章がないので、見る人が自由に物語を想像できるというのも魅力のひとつだそうですよ。やさしい解説を読みながら、自分だけの物語を楽しんでみましょう。



図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

| | |
|-----|--------------------------|
| 書名 | もっと こういうときどうするんだっけ |
| 著者名 | 辰巳 渚／著 朝倉 世界一／まんが |
| 出版社 | 毎日新聞社 |
| 所蔵 | 新屋・明德館 請求記号 15 （ 道徳 ） |



子どもの自立を応援する「自立のすすめ マイルール」シリーズの第4集です。

主人公の小学生・まきちゃんが、日々生活する中で出会うさまざまな問題について、自分ひとりで、または家族や友達といった身近な人たちと一緒に考えていきます。

たとえば、恥ずかしいことをして友達に笑われてしまったら？ ひとりがさびしかったら？

使っているタオルがくさかったら？ 泣きながら寝てしまった次の日、目がぱんぱんにはれてしまったら……？

大人になっても、「こういうときどうするんだっけ」ととまどってしまう場面に遭遇することはたくさんあります。この本を読みながら、まきちゃんと一緒にもう一度じっくり考えてみるのはいかがでしょうか。

図書館員（小松 智実）のおすすめ本

| | |
|-----|----------------------------|
| 書名 | 失敗だらけの人類史 英雄たちの残念な決断 |
| 著者名 | ステファン・ウェイア／著 定木 大介・吉田 旬子／訳 |
| 出版社 | 日経ナショナルジオグラフィック社 |
| 所蔵 | 雄和 請求記号 204 （ 歴史 ） |



人は大事なことを決める時に深く思い悩むときがあり、残念ながらその決断が間違っていて失敗をすることがある。

この本は、アダムとイブの頃から現代までの様々な人物を取り上げており、どういった状況でそのような決断をしてしまったか、が書かれたものである。

英雄たちの欲望、傲慢（ごうまん）、慢心からの残念な決断。

情報不足、あるいは誤った情報によるもの、又はちょっとした入力ミスが原因、など、様々な失敗の事例が紹介されている。

歴史の教科書などで読んで、なんとなく記憶にある出来事も詳しく書かれていて、とても興味深い一冊となっている。

「私、失敗しないので！」という決めぜりふのドラマがある。

う～ん・・・やっぱりそれは言えない。

記事になったお酒の話題あれこれ

個性あるおいしいお酒を作るもの
～こだわりの木桶～

古い蔵に大きな木桶。その液体の中で、コポコポと小さな気泡が。酒蔵のイメージだが、それは遠い古の話。どこの酒蔵も木桶は使わなくなっているようだ。だから木桶を作る職人も次々廃業。でも、本物の味にこだわる人がいた。秋田の新政もその一つ。手間はかかるが、木で作った木桶に寝かせることが個性ある仕上がりになるという。だから地元秋田杉を使った木桶も作りたい。やがては、自然豊かな河辺に木桶工房を作る構想があるという。古今東西、美味い酒は職人のこだわりと時間と自然と天使が作るものらしい。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
日本経済新聞
平成30年2月11日

平成ってどんな時代？ …平成14年…

平成14年（2002年）の2月、3月にソルトレークシティ冬季五輪、パラリンピックが開催されました。スピードスケートの清水宏保選手やスキー・フリースタイルの里谷多英選手がメダルを獲得。秋田県出身の選手たちも大健闘を見せ、当時の新聞やニュースでも大きく取り上げられました。9月には、小泉純一郎首相が北朝鮮を訪問したことが大きなニュースになりました。日本の首相として初めての北朝鮮訪問。そして北朝鮮が拉致の事実を認めて謝罪するなど、その動向に日本中が注目しました。

秋田県内では、オリンピック開催と同じ頃に雄和町で正岡子規門下の俳人・石井露月に寄せられた高浜虚子や河東碧梧桐の書簡が見つかりました。その書簡には、正岡子規が病で亡くなる前の病状が生々しく伝えられていたそうです。また、幻の書と言われていた「石井露月日記」の原本も書簡と同時に発見され話題になりました。

【参考資料】「秋田魁年鑑2003」「テーマで読む現代史1945-2005」

図書館員のひとりごと

趣味で家庭菜園をやっています。キュウリ、ジャガイモ、ナス、ピーマン、オクラ、トウモロコシ、キャベツ、ブロッコリ、ニンジンなど少量ずつですが、いろいろな野菜を、自己流で栽培しています。

自然相手なので、なかなか思うようにいきません。種をまいても芽が出ない、アブラムシが発生し苗が育たない、うまく育っても大雨や台風で倒される、収穫寸前のトマトやスイカがカラスにやられる等々、苦労が絶えません。それだけに、収穫の喜びは格別。採れたての枝豆をつまみに飲むビールは最高です。（藤坂）

先日、高校の同級生に子どもが生まれたので仙台まで会いに行ってきました。彼女の元に集まったのは、皆、気心が知れた15年来の友人です。

さてさて、彼女の子どもはというと、まだ十分に話せませんが、こちらが話しかけると声を上げて答えてくれます。私たちはその度にメロメロに(笑)。そしてほっぺがぷっくりとしているので、みんなで「たこ焼きくん」というアダ名をつけて帰ってきました(笑)。因みに絵本を読むのが好きらしく、図書館に頻繁に通っているそうです。将来は文学青年になるようにと勝手に願っている今日この頃です。（長井）